

④再処理施設

施設名		低レベル固体廃棄物 (本)				合計 (本相当) *1	貯蔵設備 容量 (本相当)
		ドラム缶	アスファルト 固化体	プラスチック 固化体	その他の種類 (本相当) *1		
(独)日本原子力研究開発機構 再処理施設	前年度末の保管量	31,618	29,967	1,812	11,617	75,014	92,140
	当該年度の発生量	108	0	0	168	276	
	当該年度の減少量	0	0	0	52	52	
	年度末の保管量	31,726	29,967	1,812	11,733	75,238	
日本原燃(株) 再処理事業所 (再処理施設)	前年度末の保管量	6,064	—	—	10,037	16,101	*13 74,750
	当該年度の発生量	2,388	—	—	2,115	4,503	
	当該年度の減少量	0	—	—	0	0	
	年度末の保管量	8,452	—	—	12,152	20,604	

施設名		低レベル固体 廃棄物(本)	高レベル固体廃棄物 (本相当) *1			合計 (本相当) *1	貯蔵設備 容量 (本相当)
		せん断被覆片等	使用済 フィルタ等	試料ビン等			
(独)日本原子力研究開発機構 再処理施設	当該年度の発生量	—	134	0	13	147	10,320
	当該年度の減少量	—	0	0	0	0	
	年度末の保管量	—	4,892	302	1,328	6,522	
日本原燃(株) 再処理事業所 (再処理施設) *14	当該年度の発生量	96	—	—	—	96	2,000
	当該年度の減少量	0	—	—	—	0	
	年度末の保管量	157	—	—	—	157	

施設名		*15 ガラス 固化体 (本)	低レベル液体廃棄物 (m <sup>3</sup> )			高レベル 液体廃棄物 (m <sup>3</sup> )
			*16 低放射性 濃縮廃液	スラッジ	*17 廃溶媒	
(独)日本原子力研究開発機構 再処理施設	当該年度の発生量	6	68	3	8	15
	当該年度の減少量	0	0	0	4	25
	年度末の保管量	247	2,685	1,117	106	404
日本原燃(株) 再処理事業所 (再処理施設)	当該年度の発生量	57	—	—	—	—
	当該年度の減少量	0	—	—	—	—
	年度末の保管量	57	—	—	—	—

\*13 貯蔵設備容量には、廃樹脂貯槽(約190m<sup>3</sup>×3基、約80m<sup>3</sup>×2基、約120m<sup>3</sup>×1基)分の4,250本相当分を含む。

\*14 せん断被覆片等は1,000ℓドラム。

\*15 120ℓ容器。

\*16 廃液貯槽の廃液、ライン洗浄水等を含む。

\*17 水相を含む。

⑤廃棄物埋設施設、廃棄物管理施設

施設名		低レベル固体廃棄物 (本)			合計 (本相当) *1	貯蔵設備 容量 (本相当)
		ドラム缶	アスファルト 固化体	その他の種類 (本相当) *1		
日本原燃(株) 濃縮・埋設事業所 (廃棄物埋設施設)	前年度末の保管量	0	—	0	0	80
	当該年度の発生量	0	—	0	0	
	当該年度の減少量	0	—	0	0	
	年度末の保管量	0	—	0	0	
日本原燃(株) 再処理事業所 (廃棄物管理施設)	前年度末の保管量	636	—	28	664	1,200
	当該年度の発生量	120	—	0	120	
	当該年度の減少量	0	—	0	0	
	年度末の保管量	756	—	28	784	
(独)日本原子力研究開発機構 廃棄物埋設施設 *18	前年度末の保管量	—	—	—	—	—
	当該年度の発生量	—	—	—	—	
	当該年度の減少量	—	—	—	—	
	年度末の保管量	—	—	—	—	
(独)日本原子力研究開発機構 廃棄物管理施設 *19	前年度末の保管量	(478) 15,906	525	(40) 11,209	(518) 27,640	42,795
	当該年度の発生量	(35) 287	3	(0) 227	(35) 517	
	当該年度の減少量	0	0	0	0	
	年度末の保管量	(513) 16,193	528	(40) 11,436	(553) 28,157	

施設名		低レベル 液体廃棄物 (m <sup>3</sup> )
日本原燃(株) 濃縮・埋設事業所 (廃棄物埋設施設)	当該年度の発生量	—
	当該年度の減少量	—
	年度末の保管量	—
日本原燃(株) 再処理事業所 (廃棄物管理施設)	当該年度の発生量	0
	当該年度の減少量	0
	年度末の保管量	0
(独)日本原子力研究開発機構 廃棄物埋設施設 *18	当該年度の発生量	—
	当該年度の減少量	—
	年度末の保管量	—
(独)日本原子力研究開発機構 廃棄物管理施設	当該年度の発生量	—
	当該年度の減少量	—
	年度末の保管量	—

\*18 放射性固体廃棄物及び放射性液体廃棄物の貯蔵設備はない。  
JPDRの解体に伴う固体廃棄物約1,670トンが埋設されている。

\*19 ( ) 内の数値は当該施設からの発生量で下段の数値の内数。下段の数値は管理施設での管理量合計を示す。  
貯蔵設備容量は、加工施設・廃棄物埋設施設用を含む。